

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2003-204740
起案日	平成17年 9月14日
特許庁審査官	名取 乾治 3304 2P00
特許出願人代理人	龍華 明裕 様
適用条文	第36条、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

<理由1>

この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。

記

請求項4～7に係る発明は、液体カートリッジという物に係る発明であって、液体カートリッジに備えられる弁本体の構造を特定した発明であるが、かかる物は、請求項1～3に係る発明である、液体カートリッジの製造方法であって、液体カートリッジに備えられる弁構造の、付勢部材、シール部材、弁本体の装着順序を特定した発明に対して、特許法第37条第4号における「直接使用する機械、器具、装置その他の物」であると認められない。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1～3以外の請求項に係る発明については新規性、進歩性等の要件についての審査を行っていない。

<理由2>

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

・請求項1

請求項1は方法に関する発明であるが、「付勢部材挿入ステップ」、「シール部材挿入ステップ」、「供給弁挿入ステップ」の経時的な順序が不明確である。よって、請求項1に係る発明は明確でない。

・請求項2

請求項2には、「供給弁を前記コイルスプリングと係合させ、(中略)供給弁を前記中空部内に挿入する」なる記載があるが、当該記載において、供給弁をコイルスプリングに係合させてから、供給弁の中空部内への挿入が開始されるのか、供給弁が中空部内へ挿入されている途中において、供給弁がコイルスプリングに係合されるのか不明確である。

よって、請求項2に係る発明は明確でない。

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 B41J 2/175、
 B65D 83/00、83/06、
 B67B 1/04、
 B23P 19/00、19/02、
 21/00、
 F01L 3/24
 F16K 15/00-15/20
- ・先行技術文献 特開2002-17835号公報
 特開平8-183185号公報
 特開平11-170564号公報
 特開2001-113723号公報
 特開平6-210869号公報
 特開平8-119305号公報
 特表平2-502564号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第一部 事務機器 塚本文二
TEL. 03 (3581) 1101 内線3259
FAX. 03 (3580) 6902